



防災・減災・復興を 政治の主流に

近年、想定を超える大規模な自然災害が頻発化しており、各地で甚大な被害をもたらしています。さらに首都直下地震などはいつ起きてもおかしくない状況です。

いかなる災害からも「国民の生命と暮らしを守る」ことは、政治に与えられた最大の使命と責任です。かつて公明党が「福祉」を政治の表舞台に押し上げたように、「防災・減災・復興」が「政治の主流」になるようリードしていきます。

小さな声を、聴く力。 一人を大切に作る社会へ

子育てを力強く応援！ オリジナル用紙で祝福！



妊娠期から出産・子育て期までの切れ目ない支援を行う窓口として「きさらづネウボラ」が平成30年4月、朝日庁舎2階の子育て支援課内に設置されました。産後ケア事業や専門家による発達相談の他、地域で子育てを手助けするファミリーサポートセンター事業もスタートしました。

※ネウボラとは、子育て支援の先進国フィンランドの言葉で「アドバイスの場」という意味。

木更津市では、大切な節目となる婚姻届や出生届を記入するときにも幸せを感じてもらえるように、平成28年11月に「オリジナル婚姻届」を、平成29年11月には「オリジナル出生届」を作成しました。市民課窓口での配布や市のホームページからもダウンロードすることができます。



KOMEI NEWS

公明党木更津支部ニュース
2019年 冬号

わたなべ
渡辺 あつこ氏が
めざす木更津市

2019
winter

特集 公明党の政策実現力

みなさまと共に実現しました!



◆避難所運営マニュアルの作成

大規模災害時の避難所生活では、住民主体の運営が求められます。公明党の提案によって平成30年3月に木更津版の「避難所運営マニュアル」が作成されました。



◆LED防犯灯の設置推進

市内の防犯灯約1万基が平成27年度末までにLED化されたことにより、維持管理費が大幅に減少し、明るく快適で環境に優しいまちづくりが実現しました。



◆就学援助費制度を改善

入学後の6月支給だった小中学校の就学援助費(経済的理由で就学が困難な家庭が対象)を、入学準備品の購入に間に合うよう、3月支給に改善しました。



◆認知症初期集中支援チームの設置推進

認知症の人の早期発見・早期診断のために、医療や介護の専門職で構成するチームが平成29年に設置され、集中的な支援や自立生活のサポートが始まりました。



◆保健相談センター内にトイレを設置

朝日庁舎隣接のセンター内には、開設当初はトイレが無く不便との声を受け、公明党として市長へ要望書を提出し平成28年5月に設置されました。



◆空き家バンク制度の創設

年々増え続ける空地・空き家問題の対策として、空地や老朽化していない空き家を有効活用するために、平成29年12月に空き家バンク制度がスタートしました。

公明党は、4月の木更津市議会議員選挙(4月14日告示/4月21日投票)の予定候補として、現職2期の「渡辺あつこ」氏を公認決定しました。木更津市発展のために、豊富な経験を生かした活躍が期待されます。

渡辺あつこはめざします!

1. 「安全・安心」のまちづくりの推進

- ◎自助・共助・公助の強化で災害に負けないまちづくり
- ◎通学路の安全対策とまちの防犯対策の強化

2. 「輝く未来」へ子育て支援・教育の充実

- ◎子どもの成長に合わせたきめ細やかな支援体制の整備
- ◎多様な生き方を尊重する心豊かな教育の充実

3. 一人に寄り添いぬくもりのある福祉の充実

- ◎ハード・ソフト両面にわたるバリアフリーの推進
- ◎各種検診や介護予防の拡充で健康寿命を延伸

4. 自然と人が共生するまちづくり

- ◎「食品ロスの削減」など資源や物を大切にするまちづくり
- ◎「農福連携」による就労機会の拡大

5. 住んで良かったと思える木更津市に

- ◎伝統・文化の継承とみなとまちの新たな魅力づくりの推進
- ◎若者や高齢者の知恵と力を発揮できる環境づくり



KOMEI 続きは web で!
公明 渡辺あつこ 検索

Profile

- 昭和 38 年 6 月生まれ
- 現住所/木更津市大久保 3-9-5
- 家 族/夫、長男、長女の4人家族
- 学 歴/創価大学経済学部卒
- 議会歴/平成 23 年 4 月初当選 2 期
教育民生常任委員会委員長
- 資 格/教員免許、応急手当指導員、
防災士
- 趣 味/芸術鑑賞、読書